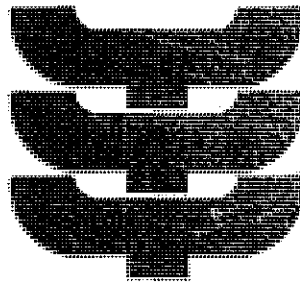


平成28年度

久留米市文化財専門委員会



- ◆ 日 時 平成28年10月7日(金) 14:00～
- ◆ 会 場 久留米市六ツ門町3-11  
久留米市市民活動サポートセンターみんなくる  
セミナー室1・2

市民文化部文化財保護課

# 平成28年度 久留米市文化財専門委員会

日時：平成28年10月7日(金) 14:00～

会場：久留米市市民活動サポートセンターみんくる  
セミナー室1・2

## 次 第

### 1 開会

### 2 教育長挨拶

### 3 平成28年度配属職員の紹介

### 4 議 事

第1号議案 久留米市文化財の指定について

◇小川文書（有形文化財）

概要説明

有形文化財部会報告

指定審議

### 5 報 告

- ・ (1) 平成27年度の事業報告
- ・ (2) 平成28年度の事業概要
- ・ (3) 平成27年度文化財専門委員会議事録の確認
- ・ (4) その他

### 6 閉会

## 4. 議 事



久留米市文化財の指定について

このことについて、下記の資料が市指定文化財に申請されましたので、審議願います。

- 1 名 称 小川文書 附小川鏡御影覚附並大友家文書
- 2 種 別 有形文化財（古文書）
- 3 所有者 田主丸町小川区（区長 怡土 廣敏）

第 号  
平成28年 9月 29日

久留米市教育委員会  
教育長 堤 正 則 殿

申請者 小川区長  
住所 久留米市田主丸田5船越  
氏名 怡工廣敏

久留米市文化財指定申請書

下記により申請いたします

記

1. 有形文化財、無形文化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財又は史跡名勝天然記念物の区別  
有形文化財（古文書）
2. 名 称  
小川文書 附小川鏡御影覚附並大友家文書
3. 保管場所  
久留米市諏訪野町1830-6 久留米文化財收藏館
4. 所有者および権原に基づく占有者並びに管理責任者又は保持者及び保持団体（以下「所有者等」という。）の氏名（保持団体にあつては代表者）又は名称及び住所  
氏名： 申請者に同じ  
住所：



## 5. 員数及び法量

23点 (附1点を含む)

別紙目録のとおり

## 6. 由来、微証、伝説、作者及び伝来等

小川文書は、小川天満宮（田主丸町船越）に伝来した史料群である。

小川氏は、小川に居館を構えていた中世の土豪である。小川藤五郎が、菅原道真に従って太宰府に下った。この時、道真は鏡に向かって自画像を描き、藤五郎ら3人の臣下に与えた。やがて藤五郎は竹野に来住した。その子孫である隣甫は豊後大友氏に臣従したが、キリスト教への改宗を拒んで、居館に攻め込まれ、英彦山に逃れた。大友氏没落後に小川へ帰還し、天神の画像を納めて天満宮を起こした。これが小川天満宮である。

小川文書は、15世紀から16世紀にかけての大友氏当主の発給文書を中心とする。寛保2年(1742)の「小川鏡御影覚附並大友家文書」(B2008-003-附)に、「小河氏江大友家より文書拾六通、同写四通」とあるように、寛保2年頃までにはB2008-003-001～020が「大友家文書」というまとまりを形成し、木箱に納められ、保管されてきた。

## 7. 現 状

所有団体より平成20年に寄託され、久留米文化財収蔵館で保管し管理している。寄託以降、3年に1回程度燻蒸を実施し、良好な状態を保っている。

## 8. その他参考となる事項

久留米市内で現存を確認できる中世文書を含む史料群は、以下の4件である。

①高良大社所蔵文書 県指定

②大善寺玉垂宮関係文書 市指定

(大善寺玉垂宮文書、御船家文書、隈家文書、梅津家文書)

③厨家文書

④小川文書

※①は高良大社所蔵、②～④は久留米市教育委員会に寄託

このうち中世～戦国時代の土豪の由来する文書は②④のみで、②についてはすでに文化財として指定されている。

久留米市文化財指定（有形文化財）候補

## 「小川文書」に関する調査報告

平成28年10月7日

名称：小川文書 附 小川鏡御影覚附 並 大友家文書  
所在地：久留米市諏訪野町1830-6  
所有者：田主丸町小川区（区長 怡土 廣敏）  
調査者：久留米市 市民文化部文化財保護課 穴井綾香  
調査内容：保管場所にて状況調査を実施

### （1）員数・法量等

別紙目録のとおり

### （2）保存状況及び物件の概要

平成20年度、田主丸町船越の小川天満宮に伝来してきた資料が、小川区長より久留米市教育委員会（文化財保護課）に寄託され、久留米文化財収蔵館で管理している。寄託以降、3年に1回程度燻蒸を実施し、良好な状態を保っている。

寄託時における資料群の名称・点数・番号は、次のとおりである。個々の資料については、別紙目録を参照されたい。

①中世小川文書 23点 B2008-003-001～020・番外1～2・附

②小川天満宮資料 142点 B2008-002-001～142

所蔵を同じくする資料が、特に①②に分けられた理由は、伝来の経緯にある。①は、寛保2年（1742）の「小川鏡御影覚附並大友家文書」（B2008-003-附）に、「小河氏江大友家より文書拾六通、同写四通」とあるように、寛保2年頃までにはB2008-003-001～020が「大友家文書」というまとまりを形成しており、寄託時にも②とは別に、木箱に納められていた。これを踏まえて、中世の土豪・小川氏に由来する資料（①）と、天満宮の活動に由来する資料（②）とに分けられている。

### （3）調査の所見

大友氏発給文書については差出書（署名・花押）により、おおよその年代が判明する（別紙翻刻参照）。小川文書は、市内に伝来してきた数少ない中世文書であり、久留米市の戦国時代を語る貴重な古文書である。なお、市内で現存を確認できる中世文書を含む史料群は、以下の4件である。

①高良大社所蔵文書 県指定

②大善寺玉垂宮関係文書 市指定

（大善寺玉垂宮文書、御船家文書、隈家文書、梅津家文書）

③厨家文書

④小川文書

※①は高良大社所蔵、②～④は久留米市教育委員会に寄託

このうち中世～戦国時代の土豪に由来する文書は②④のみで、②についてはすでに文化財として指定されている。



小川文書  
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-001	大友持直預置状写	六月廿日	29.50	63.10	1	紙	切紙	(差)大友持直 (宛)津久見兵部少 輔殿 小河藤次郎 殿 敷部弾正忠殿	No.1~4は同一紙 裏貼紙「宝第弐号 ヨリ四号迄」	破れあり
B2008-003-002	大友親繁預置状写	三月五日			1	紙	切紙	(差)大友神繁(宛) 小河伊賀守殿久保 大炊助殿	No.1~4は同一紙	破れあり
B2008-003-003	田原親幸預置状写)	三月廿七日			1	紙	切紙	(差)田原親幸在判	No.1~4は同一紙	破れあり
B2008-003-004	田原親範預置状写	三月廿一日			1	紙	切紙	(差)田原親範在判	No.1~4は同一紙	破れあり
B2008-003-005	大友親匡知行安堵 状	文龜三年九月二 日	28.40	46.50	1	紙	切紙	(差)親匡(花押) (宛)菅藤五郎殿	裏貼紙「宝第五 号」封紙有 親 匡は後の義親	包紙水損・破れ
B2008-003-006	中紙請取状	十一月二日	27.20	16.90	1	紙	切紙	(差)竹田津志摩入 道一木(花押)(宛) 小川新左衛門尉殿	袖朱印有り 裏貼 紙「宝第六号」	
B2008-003-007	三原親賢打渡状	永正六年己巳十 二月十五日	24.70	40.70	1	紙	切紙	(差)右馬頭親賢 (花押)(宛)小河藤 五郎殿	裏貼紙「宝第七 号」	破れあり

小川文書  
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-008	大友氏加判衆連署 施行状	壬九月十四日	30.40	42.00	1	紙	竪紙	(差)永源(花押)、 永寿(花押)、隆実 (花押) (宛)小河 中務少輔殿	封紙有「小河中務 少輔殿 永源」 裏貼紙「宝第八 号」	包紙破れ
B2008-003-009	大友義鑑知行預状	九月九日	31.80	44.70	1	紙	竪紙	(差)義■(花押) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第九号」	
B2008-003-010	大友親安安堵状	三月廿八日	29.30	42.30	1	紙	竪紙	(差)親安(義鑑) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十号」封紙有 「小河中務少輔殿 親安」	
B2008-003-011	御殿料請取状	三月五日	24.00	19.20	1	紙	切紙	(差)稻光二郎左衛 門尉他3名(宛)小 河中務少輔殿	裏貼紙「宝第十壹 号」	
B2008-003-012	大友宗麟朱印状	二月廿八日	24.70	39.20	1	紙	切紙	(差)宗麟(朱印) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十貳号」	
B2008-003-013	大友義統知行預状	正月廿八日	18.10	49.30	1	紙	切紙	(差)義統(花押) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十參号」封紙 有「小河中務少輔 義統」	
B2008-003-014	大友義鑑感状	十一月五日	24.70	41.00	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河中務少輔 殿	切封 裏貼紙「宝 第十肆号」	

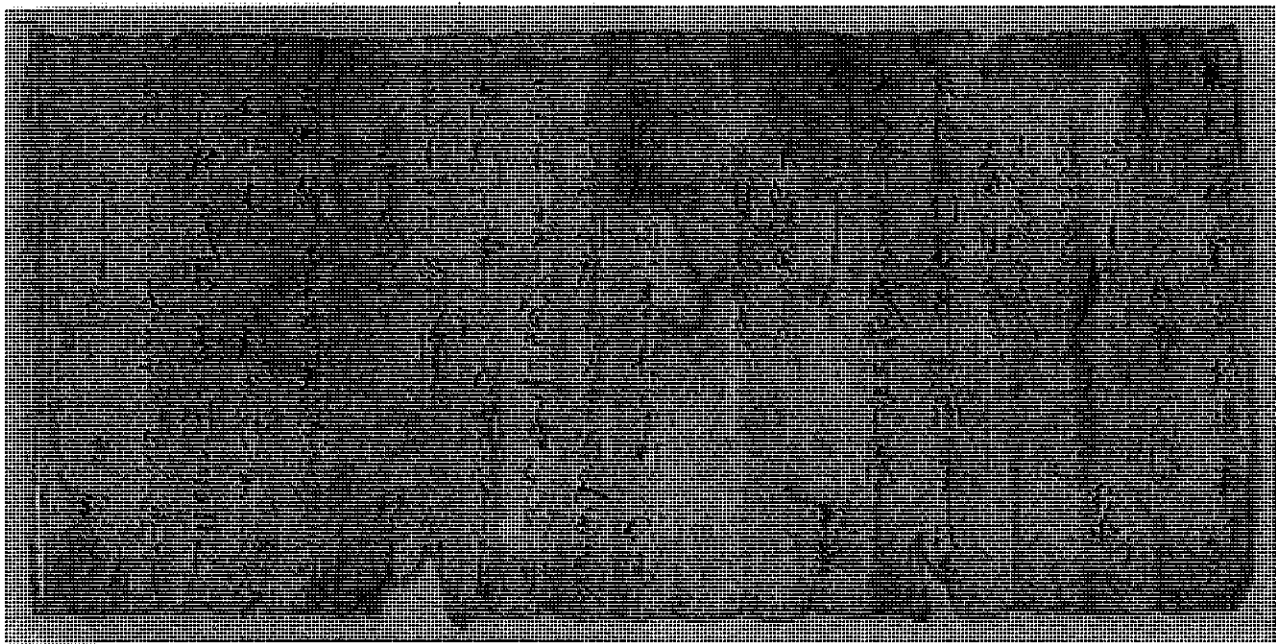
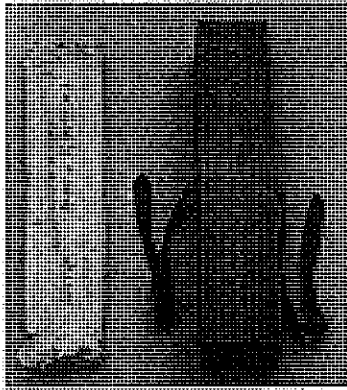
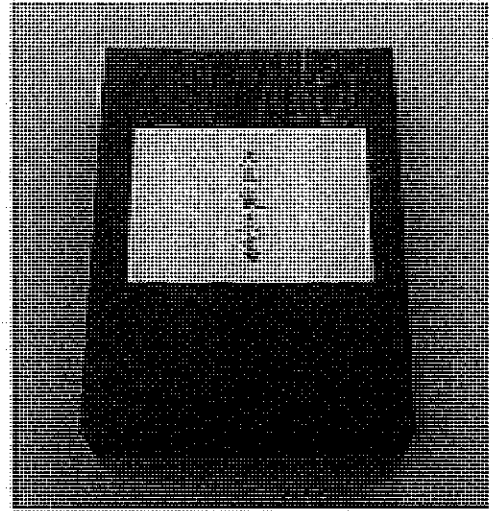
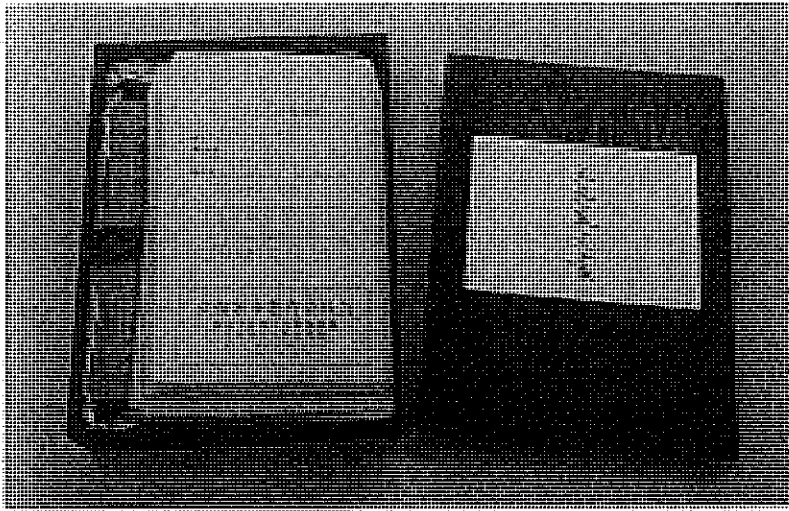
小川文書  
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-015	大友宗麟感状	十二月三日	17.70	47.80	1	紙	切紙	(差)宗麟(花押) (宛)小河六郎殿	切封 裏貼紙「宝 第拾五号」封紙 有「小河六郎殿 宗麟」	
B2008-003-016	大友義鎮感状	卯月十六日	27.20	43.60	1	紙	豎紙	(差)義鎮(花押) (宛)小河六郎殿	切封 裏貼紙「宝 第拾六号」封紙 有「小河六郎殿 義鎮」	包紙破れ
B2008-003-017	加冠状	永禄二年卯月十 六日	27.20	43.80	1	紙	豎紙	(宛)藤原鎮昌	裏貼紙「宝第拾七 号」	
B2008-003-018	大友義鑑感状	十二月廿六日	17.10	33.50	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河伊賀守殿	裏貼紙「宝第拾八 号」	穴あり
B2008-003-019	大友義鑑知行預状	十二月三日	28.00	42.00	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河伊賀守殿	切封 裏貼紙「宝 第拾九号」	
B2008-003-020	大友義鑑感状	三月十一日	15.80	46.60	1	紙	切紙	(差)義鑑(花押) (宛)小河伊賀守殿	封紙有「小河伊賀 守殿 義鑑」封 紙貼紙「宝第貳拾 号」	破れあり
B2008-003-番外1	封紙		35.90	25.50	1	紙	切紙	(差)義鎮(宛)小河 六郎殿		破れあり

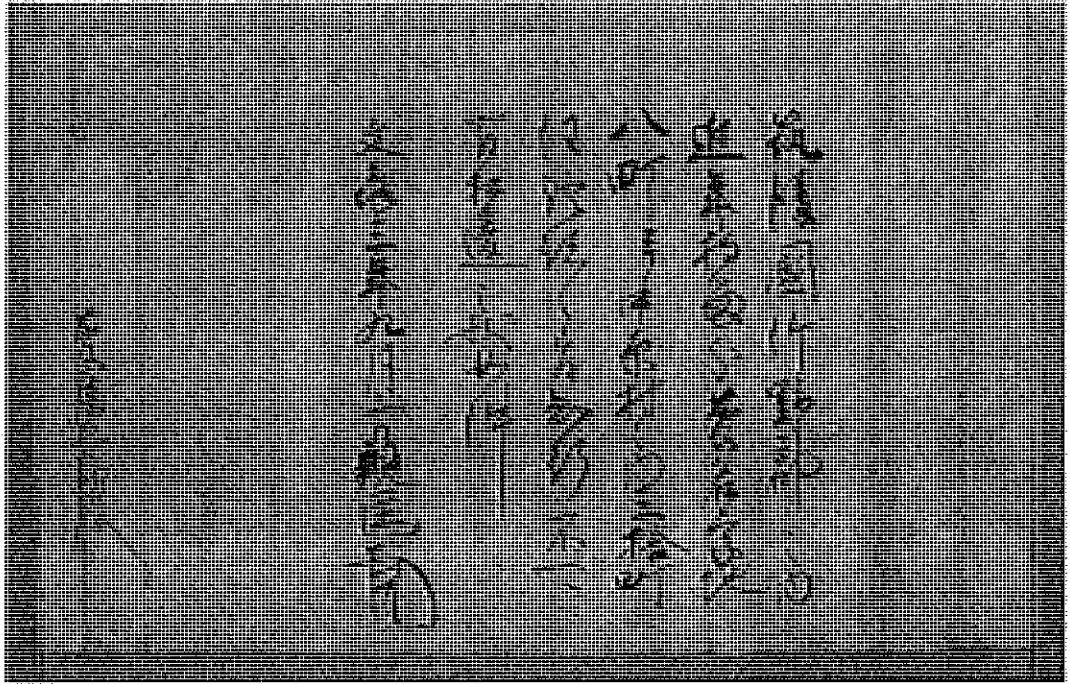
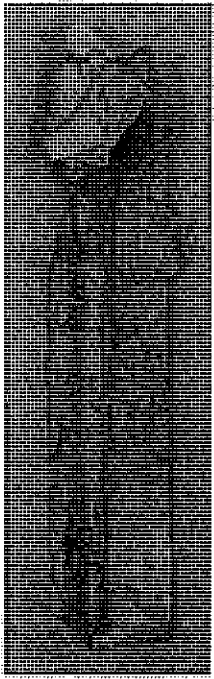
小川文書  
(B2008-003)

資料番号	資料名	年月日	縦/ 奥行	横/ 幅(cm)	個数	単位	品質・形状	内容等	注記	備考
B2008-003-番外2	封紙		39.30	30.70	1	紙	切紙	(差)義■(宛)小河 中務少輔殿		破れあり
B2008-003-附	小川鏡御影覚附並 大友家文書	寛保二壬戌年四 月中旬			1	冊	書冊	天満社守小川平助 写之		

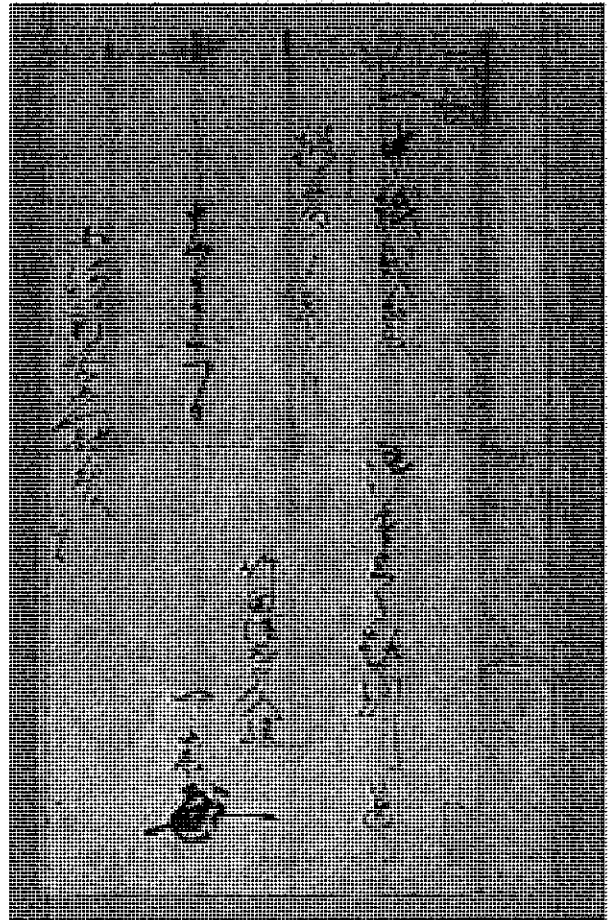
外箱



- 3 1 大友持直預置状写  
田原親幸預置状写
- 4 2 大友親繁預置状写  
田原親範預置状写

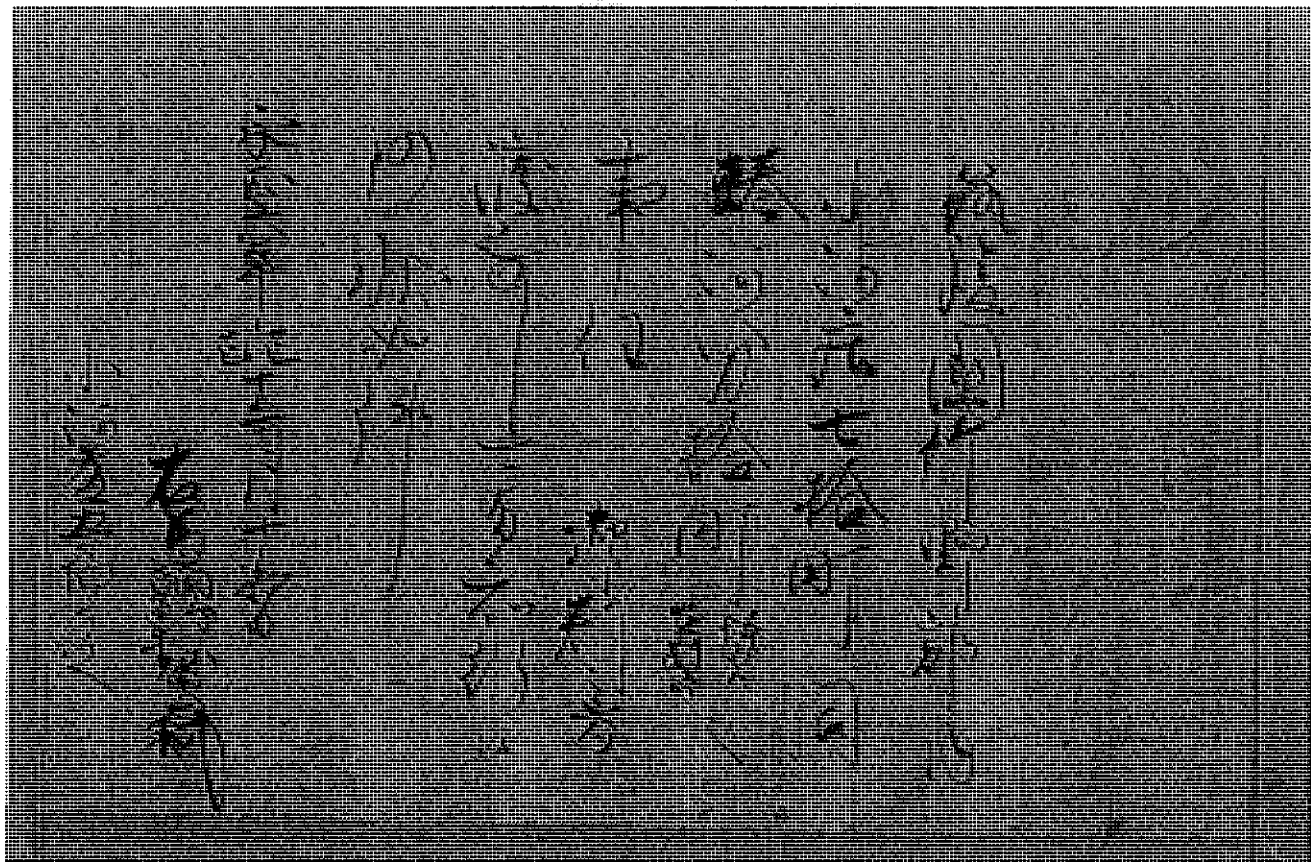


5 大友親匡知行安堵状



6 中紙請取状

7 三原親賢打渡状



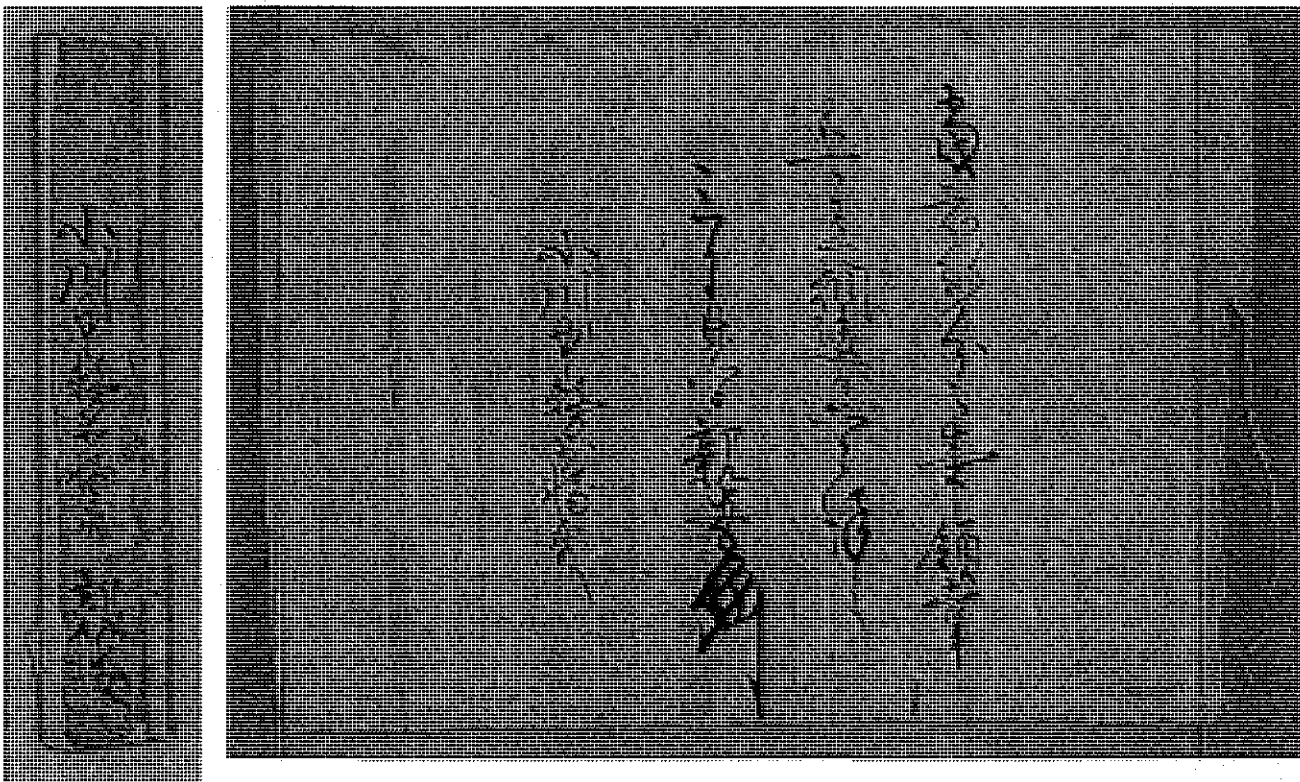
8 大友氏加判衆連署施行状



9 大友義鑑知行預狀



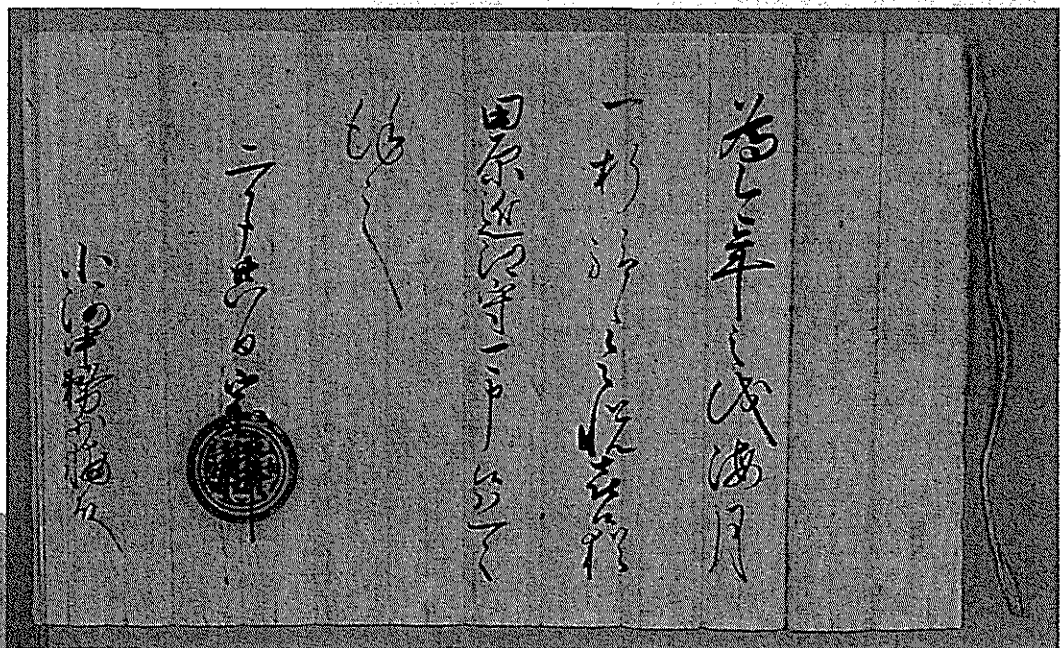
10 大友親安安堵状





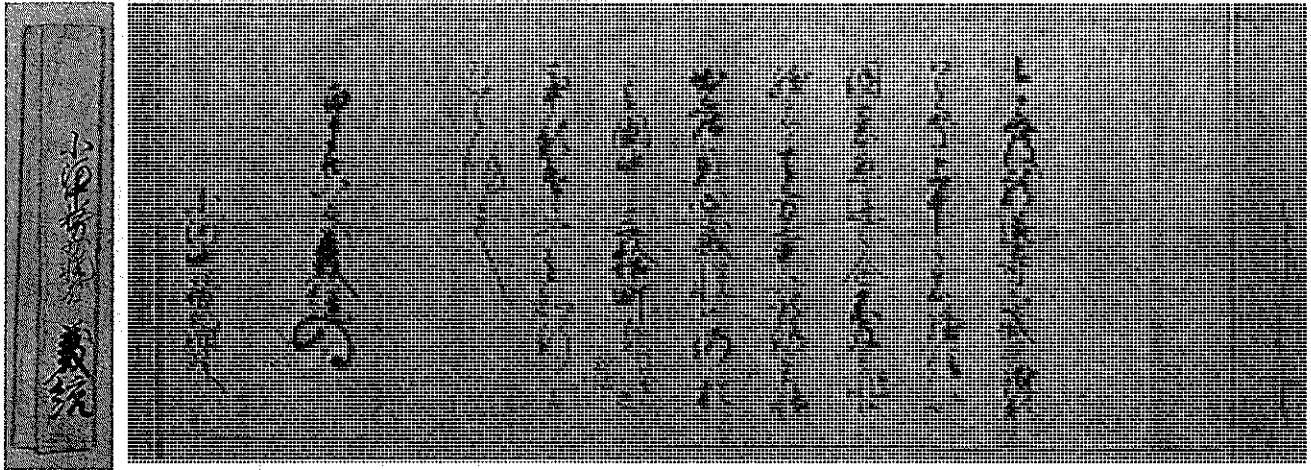


1 1 御殿料請取状

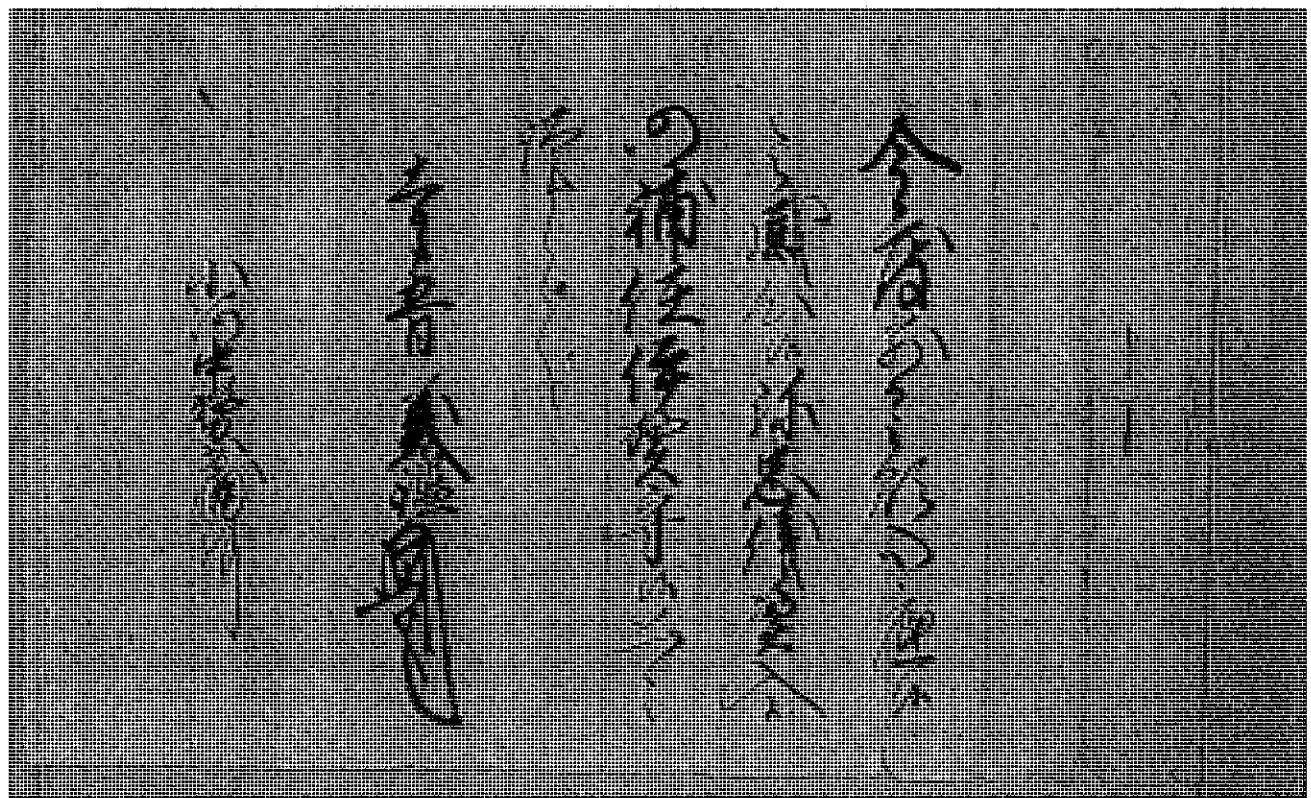


1 2 大友宗麟朱印状

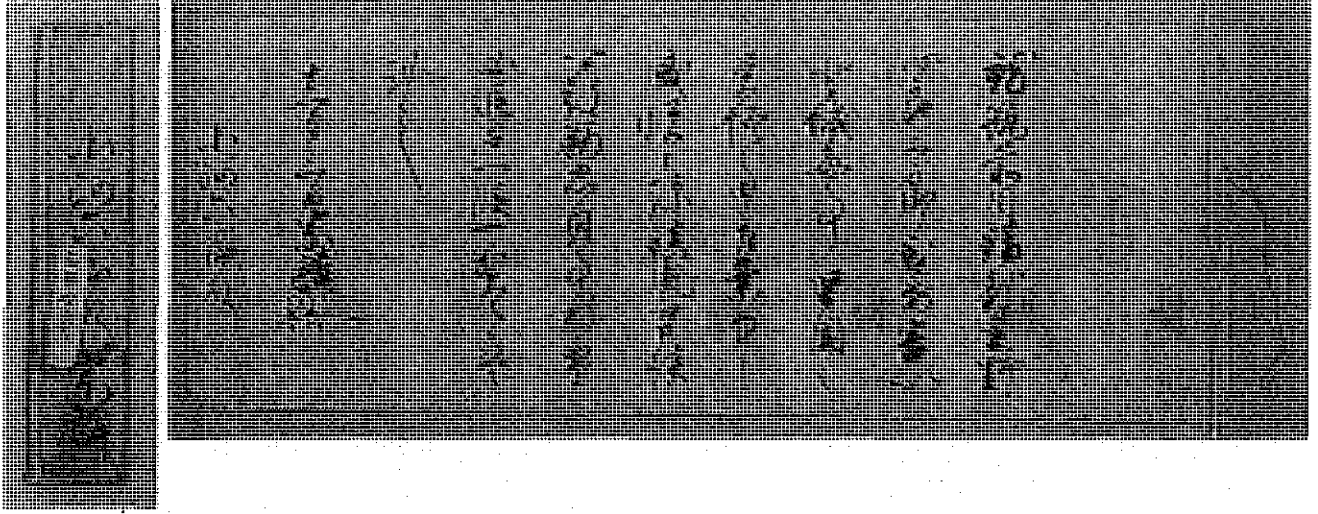




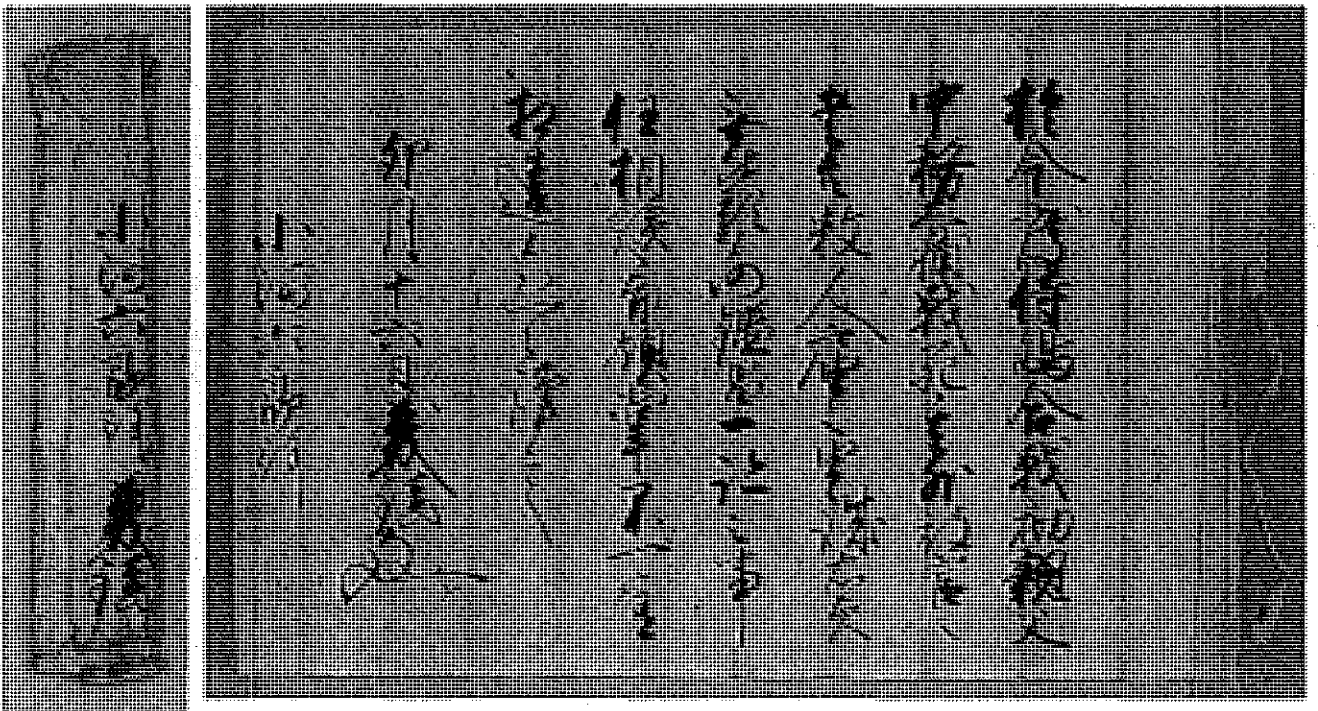
13 大友義統知行預状



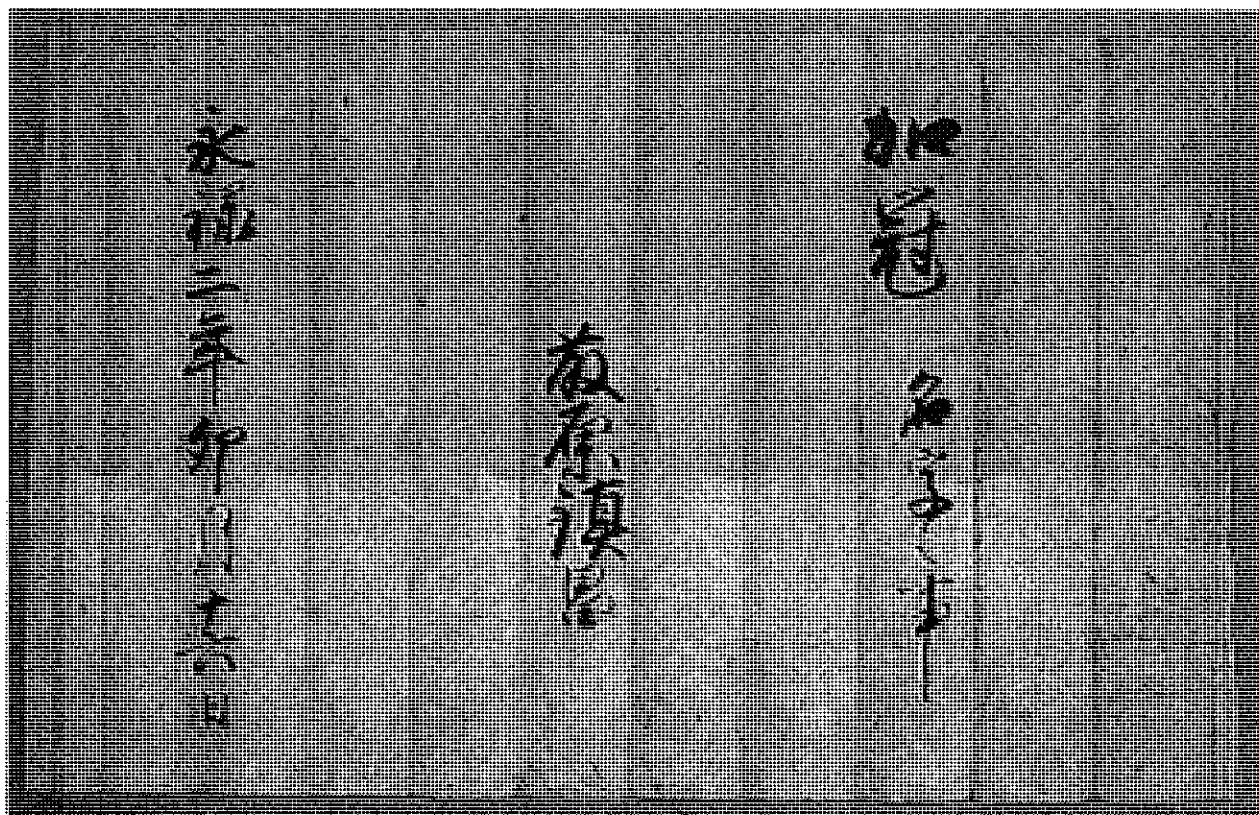
14 大友義鑑感状



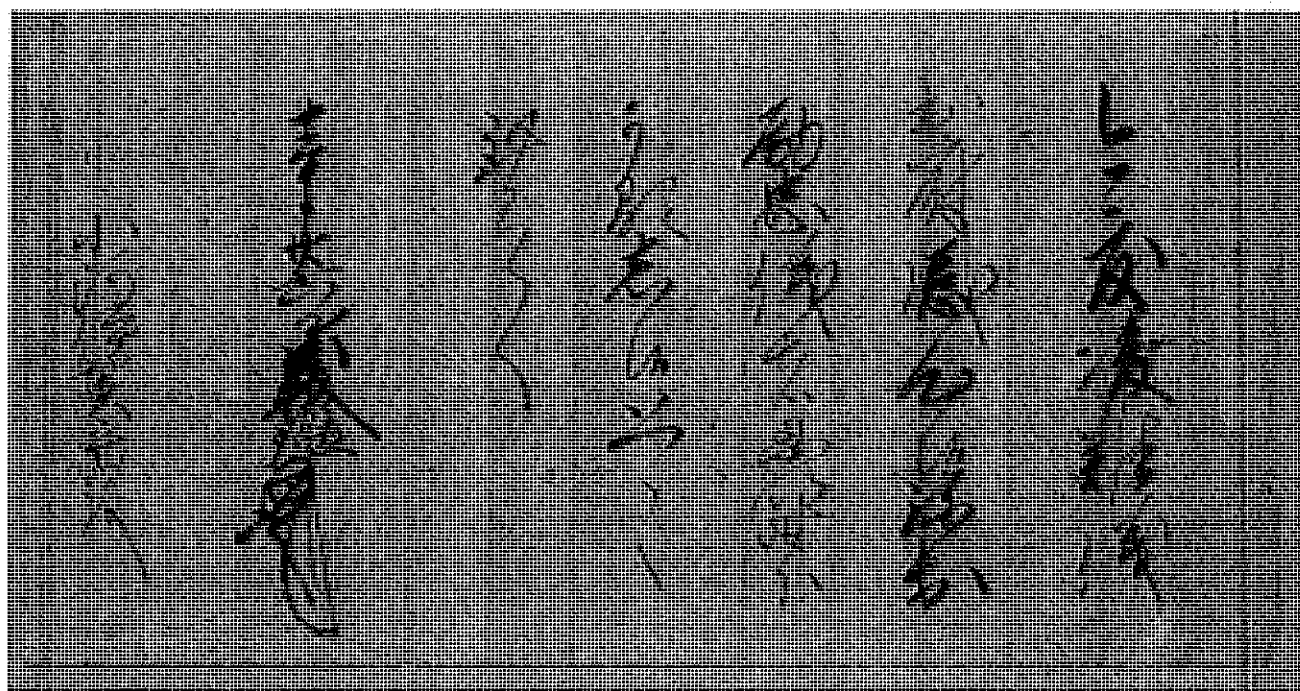
15 大友宗麟感状



16 大友義鎮感状



17 加冠状

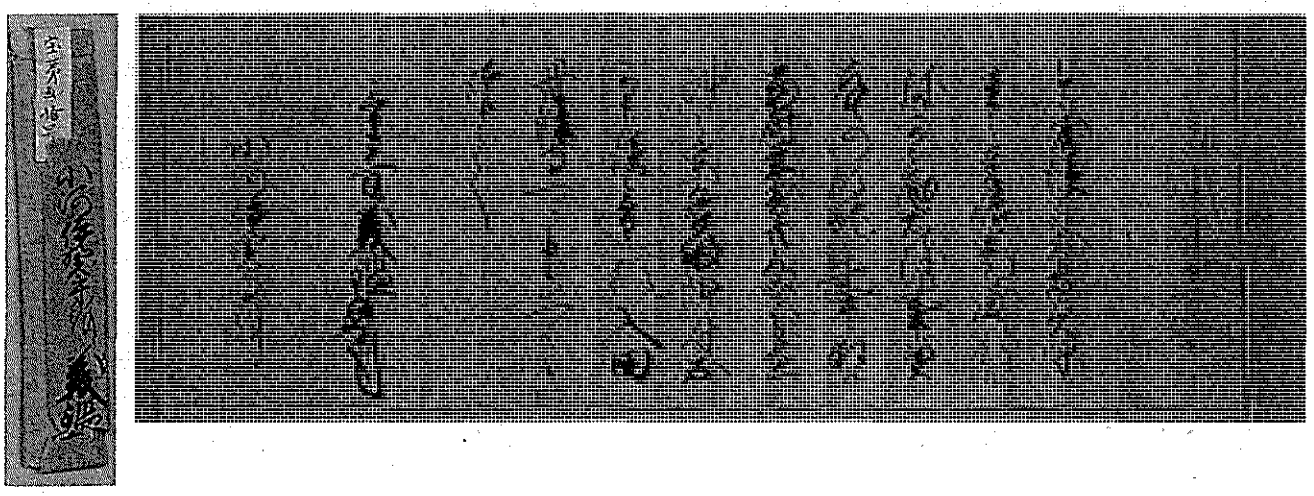


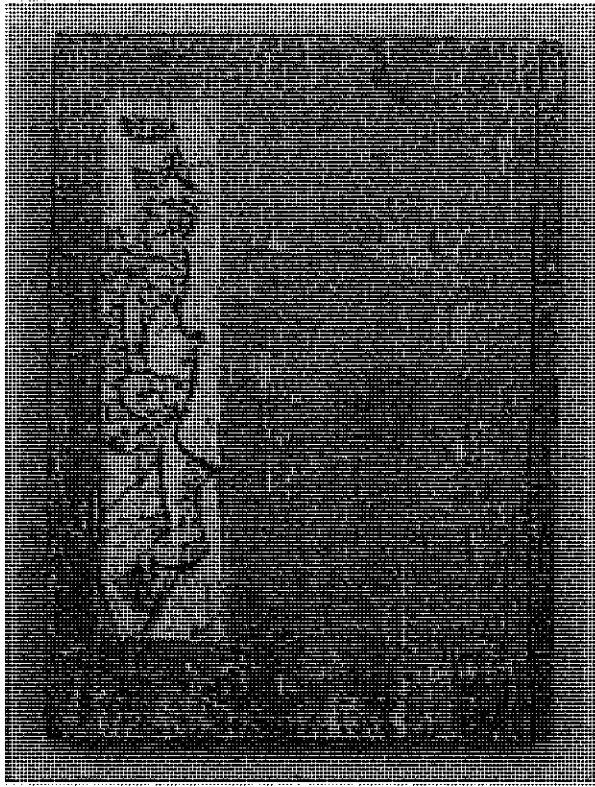
18 大友義鑑感状

19 大友義鑑知行預状

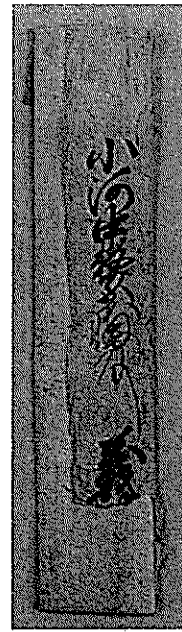


20 大友義鑑感状





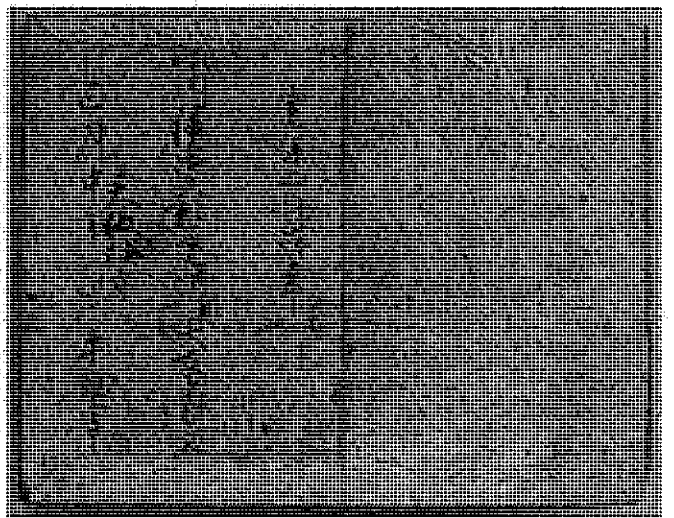
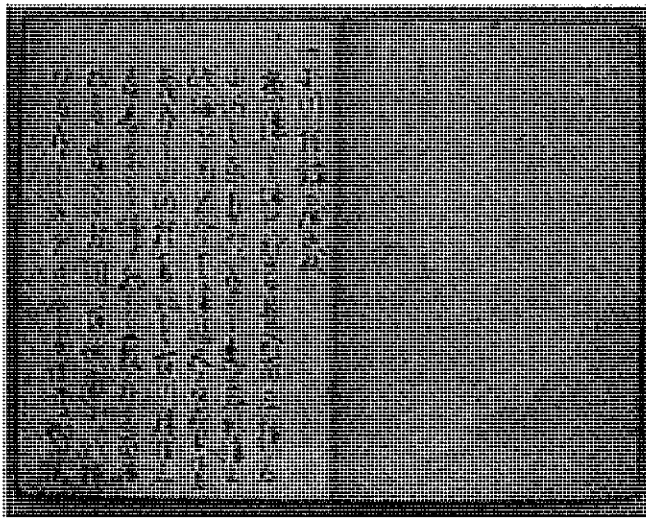
附 小川鏡御影竟附並大友家文書



番外2 包紙



番外1 包紙



## 5. 報 告

## 5 報告目次

### 報告（1） 平成27年度の事業報告

I. 組織と業務概要	19
II. 埋蔵文化財調査事業の概要	23
III. 文化財保存・整備事業	29
IV. 文化財管理事業	32
V. 歴史博物館整備検討事業	34
VI. 文化財の活用・周知普及	42
VII. 協議会・研修会派遣	48
VIII. 所管団体の事業	53

### 報告（2） 平成28年度の実業概要

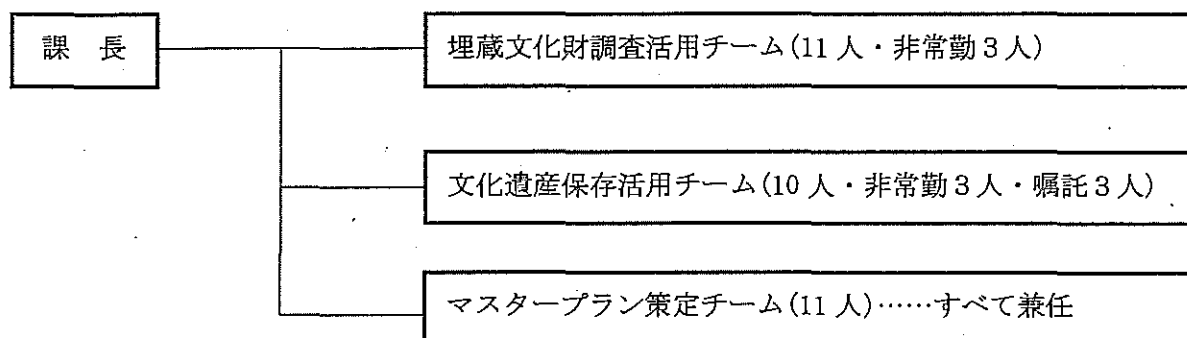
I. 文化財保護課の体制	59
II. 文化財の指定	60
III. 埋蔵文化財調査事業	61
IV. 文化財保存・整備事業	62
V. 文化財管理事業	63
VI. 文化財の活用・周知普及	65
VII. 熊本地震による指定文化財等の被害状況	70



# 5 報告（1） 平成27年度の事業報告

## I. 組織と業務概要

### 1. 組織



### 2. 事務分掌

- (1) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (2) 文化財の指定及び管理に関すること。
- (3) 文化財専門委員会に関すること。
- (4) 文化財関係団体に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関すること。
- (6) 収蔵館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (7) 文化財収蔵資料審議会に関すること。
- (8) 収蔵館の維持管理に関すること。
- (9) 博物館の建設準備検討に関すること。
- (10) 歴史公園に関すること。
- (11) 坂本繁二郎生家に関すること。
- (12) 埋蔵文化財センターに関すること。

### 3. 業務概要

国民の共有財産である文化財を保存・保護するとともに、それぞれの文化財の特性を活かした積極的な活用を図る。市民が歴史や伝統を身近に感じ、親しみ、暮らしに生かす機会を提供し、市民の郷土愛を醸成するとともに、魅力あふれる歴史環境の未来への継承に努めた。

また、「公益財団法人久留米絣技術保存会」、「公益財団法人有馬記念館保存会」を所管し、運営を行った。

#### (1) 文化財を守り伝える

- ① 埋蔵文化財発掘調査においては、開発と文化財保護の調整を図るとともに、事業の効率化、迅速化及び標準化など円滑な実施に努め、併せて調査結果の公表のため報告書を刊行するなど、市民の理解と協力を得る取組を行った。
- ② 埋蔵文化財センターを中心に、埋蔵文化財の整理・保存と調査・研究を行うとともに、生涯学習・教育活動の場としての活用を図った。
- ③ 継続して寺町の建造物調査を実施した。

## (2) 文化財に親しむ

- ① 地域の文化財を紹介する小冊子である「歴史散歩」の No.41「平和への祈り」～久留米戦争史跡～及び、残部僅少となったNo.16「三島家長屋門」を発行し、文化財の周知、文化財保護の啓発・普及を図った。
- ② 生涯学習振興の観点から、埋蔵文化財センターでの考古資料展や、六ツ門図書館展示コーナーでの企画展等を開催し、その他、歴史探訪「坂本繁二郎ゆかりの地巡り」、学校の総合的な学習の時間における体験学習など、地域に根ざした文化財を学び、親しむ機会の充実に努めた。
- ③ 文化財の管理及び普及活動を行う22団体に対し、補助金の交付及び助言を行うことで、文化財の保護、周知普及を図った。
- ④ 市民が文化財に親しみ、理解することができるよう県指定有形民俗文化財「あげ舟」、「鷲塚古墳」などの説明板等の整備や「上津校区の文化財マップ」の作成を行った。
- ⑤ 「歴史博物館」の建設に備え、資料の調査を行うとともに、収集した資料の保存作業に取り組んだ。さらに、資料管理データの追加入力を行い、資料を有効活用できる検索システムを充実し、市民からの問い合わせの回答や資料貸出しを行った。また、六ツ門図書館展示コーナーを会場として、「戦後70年 平和資料展」6,695人、「みんなの特撮ヒーロー -戦後日本の大衆文化-」3,939人、「むかしのくらし展」6,317人を開催した。さらに、他部局主催として、「防災展」831人、「暮らしの中の人権Ⅰ・Ⅱ」538人、「人権ポスター展」500人を開催した。

## (3) 文化財を暮らしに生かす

- ① 筑後国府跡については、史跡の公有化を進めるとともに、保存活用計画策定に向けた検討を継続した。また、御塚権現塚史跡の広場、おおはし歴史公園、大塚古墳歴史公園などの歴史公園については、地域の学校などの歴史学習や、地域住民のレクリエーションの場として活用された。  
また、歴史遺産を固有のストーリーにより整理し、保存活用を図る歴史ルートづくり事業に着手した。
- ② 市内に現存する歴史的建造物の活用を図るため、寺町に所在する寺院を調査し基礎資料とした。坂本繁二郎生家においては、展示会・コンサート・小学生向けの体験講座など、さまざまな事業を実施し、まちづくりの拠点や歴史的教材としての活用を図った。

◎主な事業の概要

事業名	事業概要	予算額 (千円)	決算額 (千円)
		28年度	27年度
発掘調査事業	開発に際し、埋蔵文化財の現状保存ができないと判断した場合は、記録のため発掘調査を行った。同時に、わが国及び久留米地域の歴史・文化等への理解を促し、市民の郷土愛の醸成を目指し、その成果を公表した。	計 115,011 (当初) 補正後+29,008	計 73,215
埋蔵文化財センター事業	発掘調査に伴う出土品や記録類を集中管理し、調査研究するとともに、市民の多様な文化的活動の展開を拡大するため、展示会や体験学習、学校教育の「総合的な学習の時間」への支援事業等を実施する。	計 3,402	計 2,398
観光拠点整備事業 (有馬記念館運営補助)	有馬記念館の収蔵資料を保存・活用して、久留米の江戸時代や郷土の歴史に関する情報の公開展示を行い、久留米城跡等歴史文化施設とともに広くPRして観光拠点として集客を促進した。	計 13,301	計 8,326
文化財周知事業 (くるめ歴史のさと事業)	文化財に対する市民の理解と保護思想の高揚を図るため、説明板設置や歴史探訪等の事業、歴史散歩等印刷物の作成など文化財周知、普及活動を展開した。	28年度より史跡等環境整備事業に統合	計 1,285
歴史博物館整備検討事業	地域文化を知り、創造し、継承するための生涯学習施設として歴史博物館の整備を図った。六ツ門図書館展示コーナーでは、博物館資料の展示・公開や体験学習を通して集客効果を高め、博物館建設への市民意識の高揚を図った。	計 18,206	計 10,511
筑後国府跡 歴史公園整備事業	史跡筑後国府跡は、律令制における古代都市で、久留米の都市づくりの原点といえる。史跡の整備により、市民が歴史を学び、楽しく活用し、交流人口の増加を目指す。住宅地に緑あふれる歴史公園を創出することにより、魅力あるまちづくりを推進し、定住促進を図っていく。	計 66,846	計 78,346
★歴史ルートづくり 事業	地域の歴史をテーマにしたストーリーに基づき、エリア内の歴史遺産を整理することにより文化財の保護と活用を図る。平成27年度は高良山エリアについて2件のストーリーを構成するとともに、歴史遺産活用の拠点として史跡や歴史公園等の施設管理や、エリア内の環境整備を進めた。	計 32,845	計 12,762
歴史的建造物保存 整備事業	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存・整備・活用を図り、市民が身近な場所で歴史を感じながら暮らすことのできるまちづくりを推進した。	計 2,742	計 2,001

史跡等環境整備事業	市民が歴史に親しみながら憩う場として、地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、まちづくりの素材としても多くの場面での活用を図った。	計 4,066	計 3,635
坂本繁二郎生家活用事業	久留米城下町に唯一残る武家屋敷である坂本繁二郎の生家（市指定文化財）を保存・活用し、後世へ伝えるための展示会等を実施した。また、重要な地域資源としてPRし、貸室の新規利用者の獲得や他団体主催イベントの会場やコースに使用して頂くなど、多方面で活用することが出来た。	計 463	計 378
文化財保護団体等育成事業	絵画や典籍および彫刻などの有形文化財や、祭りなどの無形文化財の管理および普及活動を行っている団体に対して補助金を交付し、文化財の保護を図った。	計 1,436	計 964

## II. 埋蔵文化財調査事業の概要

### 1. 埋蔵文化財事前確認

27年度の窓口受付件数は637件。内訳は対象外393件、要調査224件である。要調査のうち、設計変更や協議によって調整を図り、工事立会もしくは慎重工事での対応が179件で、発掘調査に至ったのは16件であった。

なお、26年度の8月より、GISを活用した窓口での照会件数もカウントしているが、1日平均で15件程度の問い合わせがある。

「埋蔵文化財包蔵の有無について」の照会件数の推移

年度	受付件数	対象外	要調査	要調査のうち		
				保存調整	発掘調査	未調査
23年度	577件	454件	123件	101	22	0
24年度	516件	351件	165件	115	50	0
25年度	623件	481件	142件	122	18	2
26年度	534件	395件	139件	123	16	8
27年度	637件	393件	224件	179	16	29

\*保存調整とは工事立会・慎重工事での対応、未調査には売買を含む。

### 2. 発掘調査

#### (1) 発掘調査及び整理作業

平成27年度に実施した発掘調査は以下の通りで、18地点で実施した。26年度からの継続調査が2地点、27年度の調査が16地点である。調査原因は公共の市事業2件、民間受託事業10件、個人住宅等の国庫補助事業6件である。

整理作業については、調査事務所において発掘調査報告書刊行の遺跡の出土遺物の作業を中心に実施。主な作業内容は、遺物の洗浄・復元・実測及び報告書刊行分の埋蔵文化財センターへの搬入前の登録作業である。

調査番号	遺跡名	調査期間	調査面積	担当者
201406	益生田古墳群（第4次調査）	平成26年6月23日～平成27年10月14日	350㎡	熊代
201414	十間屋敷遺跡（第5次調査）	平成27年1月19日～平成27年7月17日	1,183㎡	西・小川原
201501	延命遺跡（第1次調査）	平成27年5月7日～平成27年5月26日	160㎡	小川原
201502	立小路遺跡（第3次調査）	平成27年5月20日～平成27年5月29日	41㎡	廣木
201503	櫛原侍屋敷遺跡（第19次調査）	平成27年6月5日～平成27年8月31日	390㎡	江頭
201504	高三瀧遺跡（第5次調査）	平成27年6月16日～平成27年10月5日	900㎡	小川原
201505	へボノ木遺跡（第72次調査）	平成27年9月24日～平成27年12月10日	480㎡	西

201506	筑後国府跡（第 283 次調査）	平成 27 年 10 月 5 日～平成 27 年 11 月 3 日	248 m <sup>2</sup>	廣木
201507	吉木古墳群（第 3 次調査）	平成 27 年 10 月 14 日～平成 27 年 10 月 21 日	300 m <sup>2</sup>	神保
201508	櫛原侍屋敷遺跡（第 20 次調査）	平成 27 年 10 月 20 日～平成 27 年 12 月 2 日	200 m <sup>2</sup>	江頭
201509	一丁野屋敷遺跡（第 2 次調査）	平成 27 年 11 月 4 日～平成 27 年 12 月 14 日	200 m <sup>2</sup>	小川原
201510	庄島侍屋敷遺跡（第 10 次調査）	平成 27 年 12 月 14 日～平成 28 年 3 月 14 日	264 m <sup>2</sup>	廣木
201511	久留米城下町遺跡（第 25 次調査）	平成 28 年 1 月 18 日～平成 28 年 2 月 19 日	100 m <sup>2</sup>	西
201512	三反田遺跡（第 1 次調査）	平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 3 月 22 日	180 m <sup>2</sup>	小川原
201513	久留米城外郭遺跡（第 23 次調査）	平成 28 年 2 月 7 日～平成 28 年 7 月 31 日	1,150 m <sup>2</sup>	江頭
201514	隈山古墳群（第 2 次調査）	平成 28 年 2 月 10 日～平成 28 年 2 月 29 日	3,500 m <sup>2</sup>	神保
201515	久留米城外郭遺跡（第 24 次調査）	平成 28 年 2 月 25 日～平成 28 年 3 月 11 日	36 m <sup>2</sup>	西
201516	筑後国府跡（第 284 次調査）	平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 3 月 16 日	180 m <sup>2</sup>	神保

## （2）今後の課題

課題としては、現地説明会等の普及事業が時間的制約から確保できないこと、恒常的な調査員不足から調査・整理作業ともに滞っており、民間支援機関の導入・活用を視野に入れる必要がある。

### 3. 埋蔵文化財センター事業

#### (1) 平成 27 年度の概要

平成 18 年度から実施している国庫補助事業の「埋蔵文化財保存活用整備事業」については、平成 16 年度の合併以来、旧 4 町（田主丸・北野・三瀨・城島町）の出土品の再整理を行い、活用を図ることを目的としてデータベースを作成する事業を行っていたが、平成 26 年度中に旧 4 町分の整理を終了した。引き続き平成 27 年度より新たに筑後国府跡の調査で得られた資料の収納形態及び検索体系を整え、資料の有効な活用・公開を行うことを目的として、再整理を開始することとした。まずは第 1 期政庁が存在した古宮地区近辺の南・大林地区の出土品の再点検作業を実施した。

また、地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業に伴い、南薫校区コミュニティセンター談話室を会場として、3 月 8 日～同 25 日の期間、南薫校区の歴史を紹介する企画展「南薫の歴史展」を開催、地元への調査成果の普及・啓発・還元に努めた。

主な普及活動としては、8 月 3 日～9 月 6 日の期間に玄関ホールを使用し、六ツ門図書館展示コーナーで開催された平和資料展「少年が見た久留米の戦争」展に関連して、市内に残る戦争関連遺跡の写真パネル、及び発掘調査などで出土した戦争関連資料を展示した。また、10 月 17 日（土）～11 月 15 日（日）を期間として企画展「第 40 回くるめの考古資料展」を開催。今回は「久留米の新発見平成 24～27 年度発掘調査速報」と題し、平成 24 年～26 年度の期間に市内で実施した 36 遺跡 91 ヶ所の発掘調査の中から 17 遺跡の調査成果を公開した。関連事業として、「東北の遺跡を掘って」「久留米城下を探る」と題した 2 回の講演会、発掘担当者によるギャラリートークを 5 回行ったほか、みづま祭り会場において「勾玉づくり」を 2 回実施し、体験活動を通じた普及・啓発を行った。

さらに学校の歴史授業支援のため、児童・生徒に実物資料に触れ、体感してもらうことを目的として、縄文時代～江戸時代の代表的な土器や陶磁器、石器を 1 箱に纏めた貸出キットを 4 セット作成している。

この他、発掘調査および報告書が刊行された遺跡については、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、収蔵している。

#### (2) 入館者数

平成 27 年度の当センター入館者総数は 2,295 人であった。

入場者数を月別に見ると、10・11 月が突出して多い。この要因は考古資料展が開催されるためである。特に 11 月 8 日（日）は「えーるピアくるめ」を主会場として多くの子どもや保護者が参加する「マナビーランド」が開催され、埋蔵文化財センターもスタンプラリーのチェックポイントの一つとして展示にまつわるクイズに回答しスタンプを受ける方式で参加したことにより、当日だけで 662 名の入場者があった。しかし、マナビーランド事業は例年 1000 名を越す来場者を記録しており、より多くの来場者を埋蔵センターへ導く工夫が必要である。

また、入館者増進のためには、常設展示を工夫し、特に冬季の来館促進を図る必要がある。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	80	74	103	67	111	86	658	853	62	67	78	56	2,295

### (3) 資料活用

#### ①資料貸出

学校や地域、さらには学術研究や印刷物掲載にかかる目的で、資料の貸出申請が8件44点においてあり、そのすべてを受付後に許可した。ただし、画像の貸出についてはフィルム現物の館外貸出は控えている。これは、写真資料の保存に重点を置くため、画像はデジタルデータを貸し出すことで理解していただいている。

	期 間	借用申請者	目 的	貸出品名	点数
1	5/28～9/4	有馬記念館	企画展「江戸のふしぎな動物たち」展示のため	雀紋小皿 写真「犬の埋葬状況」 土製犬（5点）	7
2	5/1～3/31	文化庁	「発掘された日本列島 2015」展展示のため	高三瀕遺跡出土品 小銅鐸1点 弥生土器甕1点	2
3	4/22～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	筑後国府跡出土緑釉香炉1点	1
4	5/21～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	石人1点 篠山神社蔵石人頭部1点	2
5	9/29～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	良積遺跡出土方格規矩鳥文鏡、同小型仿製鏡（2点）、寺徳遺跡鏡鏡型、極楽寺1号墳渦文鏡、鷲塚遺跡変形文鏡、西屋敷遺跡小型仿製鏡、日渡遺跡内行花文鏡、へボノ木遺跡鏡片	9
6	11/13～11/16	あきない祭実行委員会	あきない祭「問屋街歴史館」展示のため	城下町遺跡出土陶磁器（碗、徳利、盃、埴塙）、写真パネル	13
7	3/12～5/8	高槻市教育委員会	今城塚古代歴史館特別展展示のため	権現塚古墳出土円筒埴輪（2点）、人物埴輪（2点）、御塚古墳出土新羅系土器（2点）、岩戸山古墳石人、石人頭部	8
8	3/18～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	へボノ木遺跡出土土師器香炉、土師器杯	2
				小計	44



## ②資料の掲載

当センターの収蔵資料を印刷物に掲載する申請が 11 件 50 点提出された。この申請について全てを許可した。

	申請者	掲載品名	点数	掲載書名・内容
1	有馬記念館	城下町遺跡出土雀紋小皿、写真「犬の埋葬状況」、土製犬（5点）	7	「江戸のふしぎな動物たち」展ポスター・チラシ掲載
2	個人	城下町遺跡出土高野山発給「護符」写真	1	木下浩良著『はじめての「高野山奥之院石塔」入門』に掲載
3	岩村孝平	浦山古墳石室・石棺写真	1	グーグルストリートビュー掲載
4	安武校区公民館	追分古墳出土 玉、石製品写真	2	広報やすたけ掲載
5	国立歴史民俗博物館	正福寺遺跡出土小型編み籠写真	3	歴博フォーラム「さらにわかった！縄文人の植物利用」ポスター・チラシ掲載
6	個人	高三瀦遺跡 小銅鐸	1	個人HP「小銅鐸地名表」掲載
7	株式会社 くもん出版	山川前田遺跡断層写真	1	田所真著『（仮）勇者はなぜ逃げ切れなかったのか -歴史から考えよう「災害を生き抜く未来」』掲載
8	公益財団法人 日本学術協力財団	筑後国府跡 S D 3856 下層中の噴砂噴出状況写真	1	学術会議叢書 22『地殻災害の軽減と学術・教育』収録、小池伸彦・村田泰輔著「考古学における地殻災害研究の今後」に掲載
9	国立歴史民俗博物館	坂本遺跡・念仏塚遺跡・野瀬塚遺跡・ヘボノ木遺跡出土墨書・刻書土器写真	20	データベースれきはく「古代出土文字資料画像データベース」掲載
10	高槻市教育委員会	御塚権現塚古墳空撮写真3点、権現塚古墳浚渫・参拝風景写真2点、高良山空撮写真1点、権現塚古墳出土人物埴輪写真1点・円筒埴輪写真1点、新羅系土器写真1点	10	今城塚古代歴史館開館5周年記念特別展展示図録、展示、HPへの掲載
11	都城市教育委員会	山川前田遺跡・筑後国府跡の災害痕跡写真	2	都城歴史資料館平成28年度企画展「災害とむきあう人々」にて写真パネル展示
	小計		55	

### ③資料の閲覧

6件の閲覧申請があり、館内特別閲覧の許可を行なった。

	閲覧者 または 団体名	目的	日付	資料名
1	個人	卒論用資料調査	5/22～9月	良積遺跡出土玉類
2	個人	報告書閲覧	7/24	県内各地の発掘調査報告書
3	個人	個人研究の為の書籍閲覧	5/28	埋蔵文化財調査年報 Vol. 1～10
4	個人	報告書調査	9/28	県内各地の発掘調査報告書
5	個人	修士論文基礎調査	6/25	筑後国府通信他埋蔵文化財センター所蔵の書籍
6	個人	卒業論文作成のための資料調査	10/28～30	正福寺遺跡出土編組製品 (計 60点)

### ④施設利用

センター内の団体による施設見学・展示案内と解説などは3件であった。

	見学者または団体名	目的	日付	人数
1	西国分小学校	3年生社会科授業	10月23日	37名
2	シティーライントラベル	歴史探訪ツアー	1月20日	31名
3	近つ飛鳥資料館	歴史探訪ツアー	2月16日	50名
合計				117名

#### (4) 埋蔵文化財保存活用整備事業

平成27年度における国庫補助事業「埋蔵文化財保存活用整備事業」として、筑後国府跡の再整理を実施した。再整理後のコンテナ数は、次のとおりである。

筑後国府跡 (第48次・第62次・第74次・第102次・第114次)

・新規1種遺物収納パンコンテナ総数 18箱

#### (5) 図書類

##### ◆寄贈図書

報告書・紀要・図録類：1085冊

##### ◆購入図書

定期購読：『考古学ジャーナル』No.654～665 (ニューサイエンス社)

『文化財発掘出土情報』通巻407号～418号 (財団法人日本通信情報センター)

### Ⅲ. 文化財保存・整備事業

本年度に係る事業は、美術品の修復1件、民俗文化財保存事業1件、史跡整備事業1件及び天然記念物樹勢回復事業2件を実施している。

#### 1. 有形文化財・民俗文化財

##### (1) 収蔵資料補修事業

###### ①青木繁・坂本繁二郎絵画襖修復事業

平成27年度の収蔵資料補修事業は、平成24年度より継続して補修事業を行っている「青木繁・坂本繁二郎絵画襖」のうち、「家屋と庭先の図」「山水図」「馬図」の3点について実施した。補修は3点すべて熊本市の富永米山堂へ委託した。

「青木繁・坂本繁二郎絵画襖」は明治42年以降坂本繁二郎生家を所有していた山田家より平成4年に市へ寄贈を受けたもので、坂本家の誰かが描いた襖絵の上に明治42年の春から夏にかけて2ヶ月ほど仮寓していた青木繁が別の絵を描いたと伝わる資料である。

「家屋と庭先の図」は状態が甚だ悪かったため、平成12年度に一度補修を行い、まくりの状態として保管していたが、古い裏打ち紙が残り、補彩も適切でなかった。「山水図」「馬図」は襖の両面に描かれており、破れや汚れが多かった。今回の補修では、「家屋と庭先の図」については、古い裏打ち紙と、現在の裏打ち紙とを除去した。「山水図」「馬図」については、襖を解体し、裏打ち紙と表面に残る古い新聞紙(旧下張り紙)を除去した。3点とも、改めて補修、裏打ちを行い、展示公開に対応できるよう襖絵装に仕立て直すとともに、紙製保存箱を作成して収納保管する修理方針に沿って行った。

##### (2) 建造物修復事業

###### ①高良大社本殿・幣殿・拝殿屋根葺き換え事業

平成27年度から平成29年度の3ヵ年計画で実施する予定である。初年度である平成27年度は、屋根替え及び修繕方針の確認を行い、9月より事業に着手した。

###### ②旧三島家長屋門壁修復事業

長屋門裏側の土壁が一部、損壊したため、修繕を行っている。応急的な処置であるため、壁の修復には壁土を使用していない。今後、改修を行う際に壁土を使用する予定である。

##### (3) 民俗文化財関連保存事業

###### ①厨の地藏菩薩彫像板碑保存施設作成設置事業

平成24年度に市指定有形民俗文化財に指定され、東合川町から坂本繁二郎生家へ移設された。生

家では屋外に展示しているため、風雨に曝されている状態にあることから展示可能な状態を保ちながら保護を図るため、覆い屋を設置した。

## 2. 記念物

### (1) 史跡整備事業

#### ①筑後国府跡歴史公園整備事業

平成 27 年度については、久留米市土地開発公社からの買戻しを行った。現在の公有化面積は、32,136.58 m<sup>2</sup> (実測面積) である。道路等の国、市有地を含めると公有化率は、84.33%となる。国司館地区の大部分が公有されているが、Ⅱ期政庁地区については、宅地が多く、公有化率 60%を下回っているのが現状である。

#### ②史跡下馬場古墳石室内環境調査

調査は石室内に温湿度計を 4 基、石材の表面温度を測る温度計を 8 基、屋外に温湿度計を 1 基設置している。1 年間の温湿度変化を計測して、平成 26 年 9 月下旬から平成 28 年 3 月末までを目処として温湿度調査を実施している。

### (2) 名勝・天然記念物保存事業

#### ①県指定天然記念物「味水御井神社のクロガネモチ」撤去事業

平成 24 年 6 月 19 日未明に発生した「味水御井神社のクロガネモチ」の回復措置を行ったが、枯死したことが確認された。平成 27 年 4 月から撤去作業を行い、県指定が解除された。



撤去前の状況



伐採の状況 (その後、撤去)

#### ②市指定天然記念物「高良大社のツツジ」樹勢回復事業

近年、ツツジの色付きが不良であるため、枝の剪定、施肥を行う事業を補助している。作業は 9 月上旬に開始し、1 週間程度で終了した。



③県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年1月下旬に実施しており、本年度は1月27日に地元である柳坂自治会、県立筑水高校が剪定作業を行い、文化財保護課が剪定枝の回収及び廃棄を担当した。

## IV. 文化財管理事業

### 1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、15団体の事業へ補助金を交付している。

#### (1) 文化財保護団体

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| ・ 鬼夜保存会             | 重要無形民俗文化財「鬼夜」管理団体          |
| ・ 花火動乱蜂保存会          | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体        |
| ・ 北野天満神社神幸行事保存会     | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体 |
| ・ 草野風流保存会           | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸祭」管理団体 |
| ・ 若宮八幡宮神幸祭実行委員会     | 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮神幸祭」管理団体   |
| ・ 八丁島の御供納           | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体    |
| ・ 御井町風流保存会          | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体      |
| ・ 満月会保存会            | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体  |
| ・ 高良山同志会            | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体     |
| ・ 特定非営利活動法人ヒナモロコ里親会 | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体      |
| ・ NPO法人ヒナモロコ郷づくりの会  | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体      |

#### (2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体

- ・ 高良山の緑と史跡を守る会
- ・ 久留米郷土研究会
- ・ 山川校区郷土研究会
- ・ 田主丸郷土会

### 2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を4団体、2名に管理委託し、史跡2箇所は草刈りについては、指名競争入札により業者へ委託している。

#### (1) 指定文化財の管理業務

- |           |               |                        |          |
|-----------|---------------|------------------------|----------|
| ・ 浦山古墳    | 国指定史跡         | 保存庫の施錠管理、見学者の応対        | 成田山久留米分院 |
| ・ 下馬場古墳   | 国指定史跡         | 保存庫の施錠管理、見学者の応対        | 個人       |
|           |               | (平成26年度から環境調査のため見学停止中) |          |
| ・ 高良山神籠石  | 国指定史跡         | 高良山神籠石の清掃、見回り点検        | 高良大社     |
| ・ 日輪寺古墳   | 国指定史跡         | 保存庫の施錠管理、見学者の応対        | 日輪寺      |
| ・ 大善寺旧庫裡  | 市指定有形文化財(建造物) | 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検         | 個人       |
| ・ 目安町の一里塚 | 市指定史跡天然記念物    | 市有地の草刈り、清掃。年3回実施       | 目安町自治会   |

- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 委託
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 委託

## (2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）の石浦大橋を含むおおはし歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚権現塚史跡の広場 国指定史跡 御塚古墳、権現塚古墳と公園敷地内の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡 田主丸大塚古墳と歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

## 3. 防犯・防災事業

### (1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。本年においては、須佐能袁神社が主催して防火訓練が実施される予定であったが、当日の積雪のため、中止された。

日 時：平成28年1月24日（日）9時30分～11時00分

場 所：須佐能袁神社（久留米市草野町）

主 催：須佐能袁神社

参加者：須佐能袁神社 氏子総代 久留米広域消防本部善導寺消防署、消防分団、久留米市

### (2) 防災施設設置及び管理事業

重要文化財「木造阿弥陀如来立像」を所有する無量寺が、火災報知機等の防災施設を設置するため、補助金を交付した。その他、例年同様、防災施設の管理に関する補助金を交付している。

- ・高良大社所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 高良大社
- ・善導寺所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 善導寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 専念寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 無量寺
- ・上野家住宅御成間 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・鹿毛家住宅 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・須佐能袁神社本殿・拝殿・楼門 県指定有形文化財 管理に対する補助金 須佐能袁神社
- ・地蔵来迎図板碑 県指定有形文化財 管理に対する補助金 国分寺

この他、福岡県文化財保護課が実施した文化財の防犯に関する調査結果を指定文化財所有者へ配布し、注意喚起を行った。